

# 2008 年度 第 16 回 日本線虫学会大会プログラム

9 月 17 日 (水)

13:00~14:00 総会

14:00~14:10 休憩、講演準備

14:10~14:40 特別講演

(座長 二井一禎)

近藤榮造(佐賀大学)「大学における線虫学教育と研究事情」

14:40~17:00 シンポジウム I.

「線虫を巡る IPM 研究の現状と展望」

(座長 皆川 望)

14:40 SI-1 北上 達(三重農研)ネコブセンチュウの IPM 技術と今後の展望

15:05 SI-2 奈良部 孝(北農研)ジャガイモシストセンチュウの IPM 技術の開発と展望

15:30~15:45 休憩

15:45 SI-3 田辺博司((株)エス・ディー・エス バイオテック) *Steinernema* 属昆虫病原性線虫による害虫防除の現状と展望

16:10 SI-4 前原紀敏(森林総研東北)マツノザイセンチュウの微生物的防除—菌類利用の試み

16:35 SI-5 Siddiqui, Z. A. (Aligarh Muslim Univ. India) Biocontrol of plant parasitic nematodes by bacteria and fungi

9 月 18 日 (木)

シンポジウム II. 線虫とバイオディバーシティー

(座長 岡田浩明)

9:15 SII-1 皆川 望(九州沖縄農研)生物多様性と線虫: 研究の基本概念、土壌の質と健全性との関わり、その他

9:45 SII-2 白山義久(京大臨海研)生物多様性条約と海洋線虫のバイオディバーシティー(仮題)

10:15~10:30 休憩

10:30 SII-3 Ahmad, W. & Baniyamuddin, M. (Aligarh Muslim Univ. India) Nematode diversity along altitudinal gradients in Eastern Himalayas, India.

11:00 SII-4 Yushin, V. V. & Ryss, A. Y.\* (Inst. Marine Biol. FEB RAS; \*Zool. Inst. RAS, Russia) Sperm structure and development in *Bursaphelenchus mucronatus* (Nematoda: Parasitaphelenchidae)

11:30 SII-5 岩堀英晶(九州沖縄農研)DNA シークエンスからみた植物寄生性線虫のバイオディバーシティー

12:00~13:00 休憩・昼食

## 一般講演（第1日）

（座長 岩堀英晶）

13:00 101 ○丸山洋介・池野 崇・植原健人\*\*・山口淳二・後藤デレック\*（北大生命科学学院・\*北大創成・\*\*北農研）植物と植物寄生センチュウの相互作用

13:15 102 ○浦上敦子・徳田進一・村上健二・佐藤文生・相澤証子・國久美由紀・東尾久雄（野菜茶研）キャベツ連作圃場における堆肥連用がキタネグサレセンチュウ密度に与える影響

13:30 103 ○上杉謙太・岩堀英晶・立石靖・住友克彦\*（九沖農研・\*花き研）クマモトネグサレセンチュウのキクにおける増殖と被害の品種間差異

13:45 104 ○星野 滋・山内 稔\*・井上博喜\*・富樫一巳\*\*（広島総研農技セ・\*近中四農研・\*\*東大院農）鉄コーティング処理がイネシンガレセンチュウの生存と増殖に及ぼす影響

（座長 串田篤彦）

14:00 105 ○山下一夫（青森農林総研畑園試）イモグサレセンチュウの行動に及ぼす数種植物抽出液および化学物質の影響

14:15 106 ○相場 聡（中央農研）ダイズシストセンチュウの寄生性判別のための接種条件の検討

14:30 107 ○後藤圭太・佐藤恵利華・豊田剛己（東京農工大 BASE）土壌締固めとリアルタイム PCR を介した新規のダイズシストセンチュウ検出法の開発

14:45 108 ○奈良部 孝・植原健人・伊藤賢治（北海道農研）プラスチックカップ検診法を用いた土壌からのジャガイモシストセンチュウの定量的検出精度の検証

## 15:00～15:15 休憩

（座長 相場 聡）

15:15 109 ○大林隆司・櫻井文隆\*・吉村聡志\*・高木章雄\*\*・伊藤 綾\*\*\*・竹内浩二（都農総研・\*都中央普セ・\*\*都農林水産部・\*\*\*都島しよ農林水産総合セ三宅）エダマメのダイズシストセンチュウに対するダゾメット粉粒剤の効果

15:30 110 ○串田篤彦（北農研）アカクローバ栽培によるダイズシストセンチュウ密度低減の実用性

15:45 111 ○東岱孝司（北海道立上川農試）北海道における新たな寄生性を示すダイズシストセンチュウ個体群の出現

16:00 112 ○福澤晃夫・石田広志・山本省吾・奥村宗平・奈良部 孝\*（東海大生物理工、\*北農研）ジャガイモシストセンチュウの孵化共力因子

（座長 奈良部 孝）

16:15 113 ○百田洋二・藏之内利和\*・高田明子\*・中村善行\*・熊谷 亨\*（農研機構本部・\*作物研）スイカによるキタネコブセンチュウ密度の抑制

16:30 114 ○島袋由乃・田場 聡・安次富 厚・諸見里善一（琉大農）アワユキセンダングサを活用した数種処理法によるサツマイモネコブセンチュウの防除

16:45 115 ○高良綾乃・小長光義紀・永松ゆきこ・田場 聡\*（パネフリ工業（株）・\*琉大農）アワユキセンダングサを原料とするネコブセンチュウ防除資材の開発

17:00 116 ○Khan, Z. (Seoul Natl Univ, Korea) Plant growth-promoting rhizobacterium, *Paenibacillus polymyxa* suppress disease complex caused by root-knot nematode and fusarium wilt fungus on tomato

18:00~20:00 懇親会

9月19日(金)

(座長 神崎菜摘)

9:00 201 ○岩堀英晶・市瀬克也\*・Nguyen Thi Ngoc Truc\*\*・Le Quoc Dien\*\* (九冲農研\*・国際農研熱帯島嶼\*\*・ベトナム南部果樹研究所)ベトナム南部のグアバより初検出された *Meloidogyne mayaguensis* について

9:15 202 ○関本茂行・酒井啓充・佐藤 雅(横浜植防)杉並区蚕糸の森公園のクワから分離されたスギナミネコブセンチュウおよびその他の植物寄生性線虫

9:30 203 丸山亮太・小倉信夫・○大胡聖嗣\*・菊地泰正\*\* (明大農\*・ヤシマ産業\*\*・森林総研)日本産ヨモギツブセンチュウについて

9:45 204 ○嶋田大輔・柁原 宏・馬渡駿介(北大院理)北海道における海産自活性線虫の分類学的研究

10:00 205 ○Olia, M., Ahmad, W. \*, Araki, M. \*\*, Minaka, N. \*\*, Oba, H. \*\*\*, & Okada, H. \*\* (Shahrekord Univ., \*Ali-garh Muslim Univ., \*\*Nat. Inst. Agro-Environm. Sci., \*\*\*Nat. Inst. Livest. Grassl. Sci.) Description of *Actus salvadoricus* Baqri and Jairajpuri, 1974 (Monochida: Mylonchulidae) from Japan with comment on the phylogenetic position of the genus *Actus* based on 18S rDNA sequences

10:15~10:30 休憩

(座長 小坂 肇)

10:30 206 ○新屋良治・竹内祐子・植田充美・二井一禎(京大院農)マツノザイセンチュウ表面タンパク質の性質

10:45 207 ○真宮靖治 マツノマダラカミキリ成虫のマツノザイセンチュウ誘引—CO<sub>2</sub> 関与の検証

11:00 208 ○真田陽平・藤本岳人・Hagus Tarno・二井一禎(京大農) *Steinernema* 属線虫2種を用いたカシノナガキクイムシの防除法の検討

11:15 209 ○吉田睦浩・大野和朗\*(中央農研\*・宮崎大農)日本産昆虫病原性線虫2種の施設果菜類栽培環境における生残能力

(座長 吉賀豊司)

11:30 210 ○持地信雄・長谷川浩一・三輪錠司(中部大院応用生物)イネシンガレセンチュウ *Aphelenchoides besseyi* の性比の偏りと染色体数について

11:45 211 長谷川浩一・○山内春奈・清水彰一\*・藤吉弘宣\*・堤内 要・三輪錠司(中部大院応用生物,\*中部大院情報工学)線虫バイオセンサーを用いたGST発現誘導物質のスクリーニングと生物に与える効能評価

12:00 212 ○長谷川浩一・近藤有希菜・三輪錠司(中部大院応用生物)GST発現に異常をきたした変異体の解析

12:15 213 ○Karim, N., Okada, H.\* & Kikuchi, T. (FFPRI, \*Nat. Inst. Agro-Env. Sci.) Analysis of expressed sequence tags (ESTs) of the fungivorous nematode *Aphelenchus avenae*

12:30~13:30 休憩・昼食

(座長 荒城雅昭)

- 13:30 214 ○藤本岳人・長谷川周一\*・水久保隆之\*\*(京大院農・\*北大院農・\*\*中央農研) 土壌中の水移動と生死に伴うサツマイモネコブセンチュウの移動特性の比較
- 13:45 215 ○原田祐樹・吉賀豊司・近藤榮造(佐賀大農) *Aphelenchus avenae* の土壌生残性における土壌細菌の影響
- 14:00 216 ○浅川満彦(酪農大獣) 外来種の存在で野生鳥獣と線虫の宿主-寄生体関係が複雑化している
- 14:15 217 ○平林公男・西川健一・坂井規浩・宮原裕一\*・花里孝幸\*・福原晴夫\*\* (信州大織・\*信州大山岳・\*新潟大教育) 自然湖沼沖帯における水生線虫類の長期変動  
(座長 前原紀敏)
- 14:30 218 ○奥村悦子・田中龍星・吉賀豊司・近藤榮造(佐賀大農) *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫がベニツチカメムシから離脱する要因
- 14:45 219 ○田中龍聖・奥村悦子・吉賀豊司・近藤榮造(佐賀大農) 非休止状 *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫の生存期間が短い原因は貯蔵脂質の消耗によるためか?
- 15:00 220 ○小坂 肇・佐山勝彦・神崎菜摘\*・高橋純一\*\*・牧野俊一\*(森林総研北海道・\*森林総研・\*\*京大生態研) 北海道産在来種マルハナバチから検出されたタマセンチュウ
- 15:15 221 ○神崎菜摘\*\*\*・前原紀敏\*\*\*・相川拓也\*\*\*・Robin M. Giblin-Davis\*・Barbara J. Center\* (フロリダ大学\*・森林総研\*\*・森林総研東北\*\*\*) タラノザイセンチュウの「昆虫寄生態成虫」  
(座長 吉田睦浩)
- 15:30 222 ○魚 鎮宇・水久保隆之・乙部和紀(中央農研) 捕食性線虫の捕食行動と殺傷能力
- 15:45 223 ○荒城雅昭(農環研) 圃場における出現頻度の低い線虫の出現パターンとその消息に関する一考察
- 16:00 224 ○岡田浩明・丹羽 慈・竹本周平・小松崎将一\*(農環研・\*茨城大) 水田と畑とで線虫群集はどう異なるか?
- 16:15 225 ○竹本周平・大場広輔\*・岡田浩明(農環研・\*畜草研) 反応速度論に基づく線虫群集定量手法の検討
- 16:30 226 ○丹羽 慈・岡田浩明・坂本一憲\*・金子信博\*\*(農環研・\*千葉大・\*\*横浜国大) 落葉広葉樹林における土壌線虫群集構造の季節変動
-